

特定非営利活動法人 自転車活用推進研究会

平成 21 年度事業報告書

1) 平成 21 年度活動会計報告

平成 21 年度は、自転車の環境と健康への寄与度を数値化するインターネットサイト「エコサイクル・マイレージ」を、好評だったが莫大な経費を要していた「日記」サイトを閉鎖して本来の走行距離とCO2換算などの計測と記録のみにリニューアルして継続し、自転車道の整備促進を訴える市民団体「自転車DO！」から派生した「安心して歩ける歩道/安全な自転車道/渋滞のない車道を実現する全国連絡会（略称：全歩連）」を通じた道路や交通環境についての利用者サイドからの情報や意見交換サイトや、自転車関係サイトの網羅を目指すインターネットポータルサイト「自転車森羅万象」の運営を行いつつ、前年度から引き継いだ財団法人日本自転車普及協会主催の「自転車研究会」を6月まで継続、7月からは株式会社万国社が受託した「サイクルスクエア北参道」事業の一環として同会場での「自転車市民権セミナー」及び「自転車トークライブ」を2010年1月の閉鎖まで各10回開催した。この「自転車市民権セミナー」は自転車活用研究会を一時的に改名して行ったもので、各界の著名人を講師に迎え、一般の聴衆の動員にも成功し、活動の幅を広げることに貢献した。個別の活動としては、4月に（社）土木学会、都市計画家協会と共催で「国際セミナー・急伸する韓国の自転車環境」を開催した。5月には韓国・済州島自治州に招聘され、講演を行った。同月には3代目自転車名人に経済評論家の勝間和代さんを選定し、赤坂サカスにおいて2代目の鶴見辰吾さんも参加して表彰式を行った。同じく5月には、年末にデンマークのコペンハーゲンで開催される気候変動防止条約締約国第15回会合に向けて、駐日全権大使のメルビン閣下が自転車で日本国内10カ所を走破する事業（（財）日本サイクリング協会運営）に参画した。7月には京都国立博物館発電ライブ、9月には関西サイクルスポーツセンター・自転車イベントに理事の派遣を行った。10月、11月には、環境省に協力してJTB首都圏（旅チャリ：パナソニックサイクルテック/シゲオーなどとの連携企画）、三菱地所、NCDなどと大手町・丸の内・有楽町界限におけるコミュニティ・サイクル社会実験を実施し、一定の成功を収めた。11月3日には「東京アースライド」を主催団体のひとつとして開催。同月、韓国・金亀市（グミ）の招聘を受け、活動紹介を行った。また、3年目となった「利用者ニーズに基づく自転車の開発に向けた調査」の最後として「障がい者自転車ニーズ調査研究事業」を受託し、2月末には茨城県下妻市において試乗会を行った。恒例となった2月の豊島区社会貢献活動見本市及び12月のエコプロダクツ2009への出展に加え、3年ぶりとなる「サイクルモード2009」への参画を「マナーアップキャンペーン」の提唱団体として大阪、東京において11月と12月に行い、自転車著名人9名と自活研の左海利久理事の計10名がデザインしたKEEP LEFT Tシャツを販売した。会員に強制的に自転車保険を付与する制度は、総合保険から賠償保険へと内容を変えて継続した。会員専用機関誌「月刊自転車DO！」は、第48号（5/15発行）の直後、創刊以来編集長を務めてきた石田久雄副理事長が急死し、その

遺産で51号までは発行したものの、事務局機能が限界に達して約半年間の休刊に追い込まれた（2010年4月復刊）。さらに、日本リユースシステム株式会社と連携して、自治体の放置自転車対策事業を支援し、途上国に自転車部品などを提供するとともに収益の一部を「認定NPO法人世界の子どもにワクチンを日本委員会（JCVC）」を通じてポリオワクチン購入に充てるなどの事業を行った。

（1）「自転車研究会」及び「障がい者自転車ニーズ調査研究事業」

両事業とも（財）日本自転車普及協会からの委託事業として、経済産業省とも連携して事務局を務めた。

当事業の報告と提言は日本自転車普及協会に提出した。

（2）自転車活用研究会事業

4月26日に土木学会などと共催で第2回国際セミナーを開催し、韓国から2名の講師を招聘した。

7月から2010年1月までは、（財）日本自転車普及協会による「サイクルスクエア北参道」において研究会の内容を「自転車市民権セミナー」として開催。この間は非会員も無料で参加できるようにした。

（3）月刊自転車DO！発行事業

一時休刊を余儀なくされたが、復刊。数多くのマスメディアに引用され、情報提供の拠点となった。

また、各地の道路状況、交通実態、自転車開発の現場などの取材が行われた。

（4）その他事業

継続されている21年度の事業は下記の結果となった。

- ① エコサイクルマイレージ運営：平成22年3月末の登録メンバー5,497人（前年同月5,201人）と堅調に増加。
- ② 自転車DO！サイト運営：管理ボランティアとして内海 潤さんが運営中。
- ③ 自転車森羅万象サイト運営：多くの団体がリンクし、ネットワーク拡大中。
- ④ 調査派遣事業：所期の目的を達し、事業を廃止した。
- ⑤ 自転車検定事業：検定の内容の見直しが進まず、リニューアルを翌年度に持ち越した。

1) 収益を伴う事業：自転車関連グッズ等の販売

エコサイクル・マイレージ参加者がそれぞれ行ってきたジャージの発注を事務局が代行しており、手数料がわずかに残るものの、事務費をまかなうほどではなく、参加者へのサービスとして継続中。

サイクルモード2009を契機に「KEEP LEFT Tシャツ」を開発し、販売した。初期ロットは些少な赤字となった。次年度にまたがる追加ロットは若干の黒字化に成功しつつある。

（5）役員改選について

副理事長の石田久雄氏の逝去により、理事一名が欠員となった

以上